

民間提案事業サポートデスクを活用した協働事例の一覧

事例	提案受付 年度	分野	提案者名	提案事項名	提案・相談の概要	実施した内容
1	R6	その他	(株) ポーラ	美と健康の知見を活かした 包括連携協定の締結	「美容」を通じたより良い地域社会の構築に向け、鳥取県と包括連携協定を締結したい。	「出会い及び結構支援」「県民が健康にいきいきと活躍する機会の創出」等の分野で連携を進めていくこととし、令和7年3月18日に包括連携協定を締結した。
2	R6	その他	住友生命保険相互 会社	県政情報に係るチラシ配布 の協力	鳥取県との包括連携協定に基づき、県政情報に係るチラシについて県民の方への配布に協力したい。	県庁内で配布を希望するチラシを募集、保険外交員の方を通じて、県施策に関するチラシ配布の協力をいただいた。
3	R6	土地・施設 利用	-	県有未利用財産の有効活用	(元) 境水産高等学校について、市民体育館等の改修工事に伴う現場事務所および関係者駐車場として利用希望。	以下の期間で財産の貸付を実施した 貸付期間：R6. 4. 15～R6. 10. 31
4					(元) 境港通動寮について、公共下水道工事に伴う仮設現場事務所及び仮資材置場として利用希望。	以下の期間で財産の貸付を実施した。 貸付期間：R6. 11. 29～R7. 10. 31
5	R6	医療・福祉	明治安田生命保険 相互会社	地域住民の健康増進対策等 への貢献	自らが展開する「地元の元気プロジェクト」に基づき、本県の「健康増進（ねんりんピック協賛）」「子育て支援」「介護・認知症対策」に対して、「私の地元応援募金」による寄付を行いたい。	以下のとおり寄附をいただき、令和6年10月に寄付金贈呈式を開催した。 ・寄付額 1, 343, 700円 ・寄付対象事業 ① ねんりんピックはばたけ鳥取2024開催事業（健康増進） ② 鳥取県自然保育促進事業（子育て支援） ③ 認知症サポートプロジェクト事業（介護・認知症対策）
6	R6	その他	鳥取マラソン実行 委員会	鳥取マラソン2025における 連携	「鳥取マラソン2025」開催にあたって、県と包括連携協定を締結している大塚製薬（株）と連携したい。	「鳥取マラソン2025」へ協賛いただき、ランナーへの給水ドリンクに大塚製薬の商品を使用するとともに、その一部を大塚製薬より無償提供いただくこととなった。
7	R6	その他	(株) 加藤紙店、 プラス（株）	効率的な利用が可能な物品 調達サービスの提案	地方公共団体向けの物品調達サービスについて、庁内に周知し、活用を検討していただきたい。	庁内掲示板DBで全庁に向けてサービスを案内。複数の所属で本サービスの利用を開始した。
8	R6	その他	(株) エースパッ ク、廣川（株）	企業の資源・ノウハウ等を 活用した連携	鳥取県のコンテンツを活かした鳥取県の効果的な商品開発を行いたい。	株式会社キサ・クリエイティブとの連携により、令和6年10月に米子鬼太郎空港羽田線就航60周年記念デザインのエコバッグを製作。米子空港から羽田便にご搭乗いただいたお客様に無料で配布。
9	R6	その他	カシオ計算機 (株)	鳥取県内で開催される地域 活性化イベントの県外への 周知における連携	自社のデジタルスタンプラリーを活用して、鳥取県内で実施するイベントを全国に周知するにあたり、鳥取県と連携したい。	東京本部、関西本部と連携して、チラシ、ポスターの設置、メルマガ配信、SNSを活用した周知協力を実施した。
10	R6	その他	日本生命保険相互 会社	医療健康分野の提案～眼の 健康コンテンツに関する連 携～	「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」開催に際して、自社が進めている眼の健康に着目したコンテンツを展開したい。	「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」に協賛（広告協賛金100万円（日本生命保険相互会社50万円、ニッセイ情報テクノロジー（株）50万円）いただき、併せて大会会場に協賛企業PRブースを設け、啓発ブースを設置いただいた。
11	R6	その他	楽 天 モ バ イ ル (株)	「ねんりんピックはばたけ 鳥取2024」に関する連携	ここ近年、ねんりんピック開催の際には、開催県との連携により大会の盛り上げに協力をしており、「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」の開催にあたって、県と連携を図りたい。	・楽天モバイル(株)から広告協賛をいただくこととなり、令和6年7月4日（木）に感謝状贈呈式を開催した。 （協賛内容）楽天HP、楽天アプリに、ねんりんピック鳥取大会の特設ページを開設し、大会をPR ・令和6年8月末より、県庁舎1階受付カウンターに、「楽天シニア」アプリのチェックインスポット端末を設置。
12	R6	その他	(株) ポーラ	農業者向けセミナーの開催	地域での女性活躍推進や就活メイク支援での就労サポートなど日頃から取り組んできたが、さらに鳥取県に役に立てることがあればと思い、連携を希望する。	県が実施する女性農業者向けスキンケア講習会に（株）ポーラから講師6名をお招きし、以下のとおり実施。 日時：令和6年8月9日（金）13時30分～15時30分 場所：大山町友好館研修室 参加者：9名 内容：・座学（シミ・しわの原因や紫外線）、実技（洗顔方法、個別の肌分析体験、簡単なメイク）
13	R5	雇用・労働	(株) YOLOJAPAN	外国人雇用支援に向けた提 案	国内在住の外国人向け求人情報等を発信している自社のノウハウを活用して、外国人労働者の拡大に向けて連携していきたい。	令和6年度外国人人材受入れ支援セミナーにおいて、（株）YOLOJAPANに講師を担っていただき、人材不足が深刻化する中で、外国人材を採用し安定的に活躍いただくためのポイントについて事例を交えながら説明いただいた。 日時：令和6年12月19日（木）14時～15時（オンライン） 参加対象：外国人雇用に興味・関心のある県内企業、事業所、商工団体、行政等

民間提案事業サポートデスクを活用した協働事例の一覧

事例	提案受付 年度	分野	提案者名	提案事項名	提案・相談の概要	実施した内容
14	R5	その他	明治安田生命保険 相互会社	「健康測定会」実施にあ たつての連携	「地元の元気プロジェクト」の一環として従業員 向け健康測定会を支援する制度について、県 の関係団体での実施にご協力いただきたい。	・ 県出資法人に対して所管課を通じて制度の周 知を実施し、周知した法人に対しては、提案者 からの直接提案を実施。実施意向のあった公益 財団法人鳥取県産業振興機構において健康 チェックイベント（ベジチェック測定、血管年 齢測定）を実施。 ・ イベントの実施により、日頃の食生活の見直 し等健康への意識向上につながったとの声をい ただいた。
15	R5	その他	カ シ オ 計 算 機 (株)	電子ピアノの寄贈を通じた 鳥取県の地域活性化への貢 献	音楽を通じた人と人との交流を促進し鳥取県の 地域活性化に貢献することなどを目的として、 鳥取砂丘コナン空港へ自社の電子ピアノを寄贈 させていただきたい。	関係課と協議を進め、電子ピアノの贈呈、それ に伴う贈呈式の開催及び寄贈品である電子ピア ノを使用した演奏会を開催した。贈呈後は、国 際線ターミナル2階ロビーにMusic Tapestry （曲調や強弱等の要素に合わせてリアルタイム で絵を生成する技術）と併せて設置しており、 電子ピアノの演奏により生成された絵をディス プレイに表示する体験ができる。
16	R5	産業振興	(株) skyer	トリピーを活用した鳥取県 PR事業の提案	県外観光客等からトリピーへの関心が高い現状 を踏まえ、トリピーを活用した鳥取県のPRを 実施したい。具体的にはグッズ販売、イベント の運営等を実施したいので、必要な手続きを 教えてほしい。	・ 提案内容が鳥取県のPR目的であるため、グ ッズ販売であれば商標使用申請を、イベント運 営であればトリピー着ぐるみを貸出することが 可能。 ・ 提案者による着ぐるみを活用したイベント （鳥取ミライ人創造プログラム2023）にて、 トリピーがスペシャルゲストとして登場し、イ ベントの盛り上げに寄与した。
17	R5	医療・福 祉	(株) 人間と科学 の研究所	生活習慣病予防・重症化予 防推進に係る提案	睡眠時無呼吸症候群をはじめとする生活習慣病 の早期発見・早期治療に向け、県主催のセミ ナー等を通じて自社で開発した機器（ウェアラ ブル生体センサBIT（以下BIT））を使って睡眠 状態を計測する参加者を募りたい。	第18回「緑の感謝祭」において、健康政策課が 実施するストレスチェックブースを活用して、 BITの説明会を実施。その結果、17名の計測申 込があったため、BITを無料配布、睡眠状態を 計測いただき、提案者から各個人へ解析結果 のフィードバックを行った。
18	R5	土地・施 設利用	-	県有未利用財産の有効活用	(元) 岩倉教職員宿舎について、工事車両駐車 場及び資材置き場として利用希望	以下の期間で財産の貸付を実施した 貸付期間：R5. 4. 3～R5. 9. 1
19					(元) 北園宿舎について、社員駐車場として利 用希望	以下の期間で財産の貸付を実施した。 貸付期間：R5. 10. 1～R5. 12. 31
20					(元) 鳥取県自動車運転免許試験場について、 道路工事に伴う掘削残土の仮置き場として利用 希望	以下の期間で財産の貸付を実施した。 貸付期間：R5. 12. 8～R6. 3. 20
21	R5	土地・施 設利用	(株) エースパッ ク	中部地域における県立施設 へのネーミングライツ導入 の検討	企業名の周知を図り、採用に向けた人材確保等 に繋げていきたいため、工場が立地する県中部 でネーミングライツ導入を検討したい。	県中部地域の県立施設の状況について導入可能 な施設を検討した結果、倉吉未来中心及び鳥取 二十世紀梨記念館を対象として、ネーミングラ イツパートナーの公募を実施。公募の結果、優 先交渉権者に(株) エースパックを選定し、以 下の内容で2月に契約を締結した。 令和6年4月1日より「エースパック未来中心」 「エースパックなしっこ館」の愛称使用が 開始された。 ＜契約内容＞ ・ 契約金額：年額1,200万円（両施設を合わせた 金額、消費税を除く） ・ 契約期間：3年間（R6. 4. 1～R9. 3. 31）
22	R5	その他	鳥取マラソン実行 委員会	鳥取マラソン2024における 連携	令和6年3月17日開催の「鳥取マラソン2024」の 開催にあたり、県と包括連携協定を締結してい る大塚製薬(株)と連携したい。	県との包括連携協定に基づき、協力したい旨の 回答があり、「鳥取マラソン2024」へ協賛いた だき、ランナーへの給水ドリンクに大塚製薬の 商品を使用するとともに、その一部を大塚製薬 より無償提供いただくこととなった。また、ラ ンナーの方へ景品を提供いただいた。
23	R5	その他	(株) メルカリ、 (株) ソウゾウ ※R6. 4に(株) ソウ ゾウは(株) メルカ リに合併	「メルカリエコボックス」 の無償提供	(株) メルカリが提供する「メルカリエコボッ クス」を活用した連携を進めていきたい。	(株) メルカリが提供する「メルカリエコボッ クス」を活用した連携を進めていきたいとの提 案を受け、関係課を通じて、市町村へ情報提供 を行った結果、岩美町において「メルカリエコ ボックス」の配布希望があり、梱包資材200セ ット（ボックス1個、梱包材3個）の配布を令和 5年11月から町内で開始。岩美町役場やイベ ントで配布を行っている。
24	R4	その他	日 本 郵 便 (株) (県内郵便局)	「ねんりんピックはばたけ 鳥取2024」に関する連携	「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」の開催に あたり、県と連携を図りたい。	令和6年10月に県内で開催された「ねんりん ピックはばたけ鳥取2024」に際して、オリジナ ルフレーム切手の販売、大会ボランティアへの 登録、県内郵便車両への大会PRステッカーの貼 り付け等、県内郵便局に様々なご協力をいた だいた。

民間提案事業サポートデスクを活用した協働事例の一覧

事例	提案受付 年度	分野	提案者名	提案事項名	提案・相談の概要	実施した内容
25	R4	環境・衛生	花王グループカスタマーマーケティング（株）	企業の知見を活かした地域の社会課題解決に向けた連携	清潔・美・健康など幅広い分野で各ステークホルダーとの連携を強めていきたい。	令和5年8月に農業者向け交流会「倉吉農業女子サロン」において女性農業者対象に紫外線、暑さ対策に関するセミナーを開催し18名の方に参加いただいた。また、中部地区シルバー人材センターにおいて、「60歳からの身だしなみメイクセミナー」を開催し、19名の方に参加いただいた。
26	R4	その他	住友生命保険相互会社	健康増進を中心とした連携の取組	健康増進の取組を中心に県と連携したい。	「健康増進」や「結婚・子育て支援」等の分野で連携を進めていくこととし、令和5年9月に包括連携協定を締結した。
27	R4	その他	オムロンソーシャルソリューションズ（株）	地方創生における社会実装	県民の生活交通確保や介護予防・自立支援に資する取組について自社のノウハウを活用して県と連携したい。	①県内市町関係団体、県等で構成される「令和5年度第1回鳥取県生活交通確保に係る地域協議会合同分科会」（R5.6.28）において、提案者より「meemo（ミーモ）の事例紹介を行った。 ②市町村が行う自立支援・介護予防の取組に民間のノウハウを導入し、効率的・効果的な事業実施を支援するため、令和6年度当初予算において「鳥取方式フレイル予防対策推進事業」が予算計上され提案者と契約を締結。オムロン（株）主催の研修会の実施や、オムロン（株）独自の調査票による介護予防事業等に関する具体的な取組状況やサービス利用者の動向を分析することにより、市町村が実施する高齢者の自立支援・介護予防に関する地域マネジメント力向上支援を実施。
28	R4	雇用・労働	スマートワーク（株）	デジタル関連の人材育成・仕事供給・産業振興に向けた連携	同社知見・ノウハウを活かして、デジタル関連の人材育成や仕事創出等で県と連携したい。	・類似の取組を進める複数の民間事業者も加え、県内のリモートワーカーを育成し、求職者や非正規労働者等の所得向上を目的とした事業を、令和5年度予算により事業化。 ・令和5年度以降「とっとりリモートワーカーの育成や就労支援、及び企業のリモートワーカー活用を推進する組織を立ち上げるとともに、「持続発展的なリモートワーカー育成等に関する協定」を締結。 ・リモートワーカー育成プログラムの実施、リモートワーカー同士の情報交換のためのSNS上のコミュニティの設置、県内企業に対するリモートワーカー活用促進に向けた普及啓発を実施している。
29	R4	その他	（株）メルカリ、 （株）ソウゾウ ※R6.4に（株）ソウゾウは（株）メルカリに合併	企業の資源・ノウハウ等を活用した自治体との連携	県産品の流通・販売支援、教育の推進、災害時の支援など、自社のツール・ノウハウを活かして県と連携したい。	①メルカリShops活用による県産品の流通・販売支援 令和5年3月8日に倉吉未来中心において、県産品の流通・販売支援として、かんたんネットショップを開設できる「メルカリShops」の活用セミナーを県内事業者参加のもと開催した。 ②メルカリShopsPBLプログラムの実施 令和5年6月から、境港総合技術高等学校3年生を対象に、（株）メルカリShopsを活用してネットショップ上で販売実習を体験する「メルカリShopsPBLプログラム」を開始。 生徒たちは（株）メルカリ等の指導・助言を受けながら、商品への付加価値、売上を上げるためにはどのような工夫が必要か等について、主体的・対話的に課題解決型の学習（PBL）に取り組み、令和5年10月にはメルカリShops上に同校と米子鬼太郎空港売店「BEE WING」のコラボショップを開設。同校の実習で製造した水産加工品と「BEE WING」の鳥取県産品を組み合わせたコラボセット商品を全国に向け販売開始。令和6年1月には、課題研究発表会（総括）を実施し、メルカリ社員も出席し、生徒たちにエールを送った。 ③メルカリ寄付 （株）メルカリが提供する「メルカリ寄付」を活用した鳥取県との連携を進めていきたいとの提案を受け、令和5年12月から「メルカリ寄付」を利用した一般寄付金の受付を開始。
30	R4	雇用・労働	第一生命保険（株）	「女性の就業意識アンケート」に関する連携	女性の就業意識に関するアンケートの実施に関して、県と連携を図りたい。	アンケート項目に県の意見を反映してもらい、県内在住の女性を対象としたアンケートを実施。アンケート結果は個人情報を除いて県に共有され、県施策の参考にしていく。
31	R4	環境・衛生	花王グループカスタマーマーケティング（株）	衛生、多様性、環境、健康分野を主とした社会課題解決に向けた取組に関する連携	衛生、多様性、環境、健康など幅広い分野で連携を強めていきたい。	令和4年11月19日に米子コンベンションセンターで開催した県主催の環境問題意識啓発イベント「とっとりエコフォーラム」において、子ども向けeco活動啓発の企業ブースを出展した。

民間提案事業サポートデスクを活用した協働事例の一覧

事例	提案受付 年度	分野	提案者名	提案事項名	提案・相談の概要	実施した内容
32	R3	その他	旭食品（株）境港支店	災害時の物資支援、県産品販路開拓等に関する連携	福祉・環境・防災・まちづくりなど、自社としてできることを県と話しあいながら、一緒に課題解決に取り組みたい。	令和5年8月に「災害時における生活関連物資の調達に関する協定」を締結し、災害時における自社取扱商品（飲料水、缶詰、即席麺等）の提供・運搬をお願いすることで合意した。
33	R3	産業振興	松風荘旅館	ペットツーリズムによる観光振興	ペット同伴観光客向けの情報整理等を通じた受入体制の整備に向けて県と連携したい。	令和4年度に鳥取県公民連携推進事業補助金を活用し、県内のペット受入環境の調査、課題把握及び先進地の活動状況等について学んだ。当該調査の結果等を踏まえ、令和5年9月に鳥取県ペットツーリズム協議会のHPを開設。ペットについてのマナーやルール、鳥取県内の動物病院や迷子になった時のお役立ち情報を掲載するとともに、県内各施設のペット受入状況が一目で分かるピクトグラムシールを作成し、店舗等への配布を開始した。
34	R3	教育・文化	ソフトバンク（株）	全国高校生手話パフォーマンス甲子園に関する連携	全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げ、その表現力を競う「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」の開催にあたり、県と連携を図りたい。	優勝校のコメントや手話に関する県の取組、手話を文字化するアプリの実証実験に関する記事をWebマガジンに掲載し、手話パフォーマンス甲子園のPR等につなげた。また、アプリの開発の一助となるよう今後も連携を継続していく。
35	R3	農業・農地	(株)読売新聞大阪本社、日本海テレビジョン放送(株)	農業に関わる人々を応援し、持続可能な未来を考える「農プロジェクト」と県との連携	農業分野に焦点をあてた多面的な編集記事や事業、企画などを展開し、農業に関わる人々の応援や持続可能な未来を考える「農プロジェクト」と、農業が盛んな鳥取県との連携により、農村と都市・地方と都市をつなぐ取組を進め、農業や地方の活性化を図りたい。	令和4年9月7日に農業・農村の振興に関するパートナーシップ協定を締結。また、パートナーシップ協定の締結に先立ち、同年7月に東京ドームで開催された巨人軍主催試合を県が「とっとりデー」として協賛し、4万人を超える来場者に県産品や観光情報のPRを実施した。協定締結後においては、都市と農村交流の促進の一環として12月に「とっとりジビエ体験ツアー」を実施し、令和5年1月には農山村からの都市への情報発信の取組として、「農山村を支える新たな力」をテーマとした全国配信のオンラインシンポジウムを開催した。
36	R3	その他	(株)クラウドシエン	サイトの登録企業に行政情報を発信する広報・集客サイトの実証実験	自治体と民間企業の連携を推進するプラットフォームの構築に向けて、官民連携に関心の高い全国の民間事業者に向けて行政情報を発信するウェブサービス「ローカルハブ」を開始するので、当該サービスを活用した官民連携推進事業の実証実験を県と連携して行いたい。	令和4年度における実証実験において効果が認められたことから、「ローカルハブ」本導入に関する覚書を令和5年4月1日付で締結した。また、提案者との連携の一環として、令和5年5月に県庁職員向けセミナーを開催。民間事業者との協働連携を進める上でのポイントや事例紹介等について講演いただいた。
37	R3	土地・施設利用	(株)妖怪企画	みなとさかい交流館2階展示ホールの民間事業者による有効活用	鉄道（JR境線）と船（隠岐汽船）の玄関口に位置する「みなとさかい交流館2階展示ホール」について、民間事業者のノウハウ等を活かした事業展開や柔軟な対応を行うことにより、地域の賑わい創出を図りたい。	水木しげるロードと一体となった賑わい創出を図る取組を公募した結果、令和4年7月16日にお化け屋敷や迷路、スタンプラリー、宝探しなどの要素を備える「鬼太郎妖怪倉庫第三章」がオープンした。
38	R3	その他	(株)ジャパンディスプレイ	県の施設における「透明ディスプレイ」に関する実証実験	透明ディスプレイと言語（音声）を文字変換しディスプレイに表示させるアプリを使用し、きこえない・きこえにくい人との意思疎通を容易にさせる実証実験を県の施設で行いたい。	試験設置の結果、普段筆談等でやりとりしている人にとって、透明ディスプレイの会話は時間の短縮になり良かった等の肯定的な声が寄せられ効果が認められたため、令和4年度県予算により20台導入し、県内公共施設を中心に設置等を行った。
39	R3	環境・衛生	花王グループカスタマーマーケティング(株)	清潔・美・健康の分野における地域課題の解決等	民間事業者のノウハウを活かし、プラスチックごみ等の環境分野や手洗い等といった衛生・感染予防分野、スキンケアメイクといった美容・社会分野に関する取組を行い、鳥取県の課題解決を目指したい。	令和4年2月1日に倉吉北高校において「新社会人好印象の身だしなみセミナー」を、同年8月23日に米子コンベンションセンターにおいて「60歳からの身だしなみメイクセミナー」を開催した。
40	R3	その他	第一生命保険(株)	第2回ととりのお国自慢サラ川（川柳）の実施	第一生命の「サラリーマン川柳コンクール」と鳥取県がコラボした取組として、鳥取県の特産品・観光・食・地域イベント等のPRにつながる川柳を募集する「ととりのお国自慢サラ川」を県と連携して開催したい。	鳥取県の特産品・観光・食・地域イベント等のPRにつながる入選作品の紹介を通じ、再発見された鳥取の魅力を県内外にPRし、鳥取を元気に盛り上げることに繋がった。また、入選作品については、とっとり・おかやま新橋館や県庁県民室でパネル展示を行い県のPRに活用した。
41	R3	その他	山陰スバル(株)	山陰スバル株式会社と星取県のコラボ企画	スバルの新たな安全安心システム「STARLINK（スターリンク）」という名称が、鳥取県が推進する星取県との繋がりを連想させることから、地域・社会への貢献として、星取県のPRを連携して行いたい。	スバル車両に星取県ラッピングを施したスターライトタクシーを、県内で催される星取県に関するイベント（星空観察会など）へ貸出・展示し、星取県のPRにつながった。

民間提案事業サポートデスクを活用した協働事例の一覧

事例	提案受付 年度	分野	提案者名	提案事項名	提案・相談の概要	実施した内容
42	R3	医療・福祉	N. K. Cナーシングコアコーポレーション(合)	SNSを利用したヤングケアラーの支援	令和3年度から鳥取県が県内3か所にヤングケアラーの相談窓口を設置したが、学業や就労により平日の日中に相談しにくいヤングケアラーが存在する。夜間や休日の時間帯に相談できるよう、県と連携してSNS上に相談窓口を設置したい。	令和3年度に試験的にヤングケアラーLINE相談窓口を設置。令和4年度は当該試験結果を踏まえ、24時間365日受け付けとするLINE相談窓口を県予算により設置し、令和4年6月13日から対応を開始した。
43	R3	農業・農地	日本郵便(株)	のぼり旗等を活用した県の梨のPR	鳥取県の梨生産者を応援し、全国に県の梨をPRする目的で、県在住のイラストレーター2名と協力のうえ、のぼり旗やポスターを作成したので、連携して梨のPRに役立てたい。	のぼり旗やポスターを県外本部（東京本部・関西本部・名古屋代表部）で活用。
44	R3	医療・福祉	第一生命保険(株)	がん対策講演会の開催に関する連携	新型コロナウイルスとがんについて、最新のエビデンスに基づくがん情報を身近な話題を盛り込んで分かりやすく説明するWebセミナーを開催するにあたり、県のがん対策の取組や受診率向上を呼びかけるメッセージ動画を流したい。	Webセミナーにあわせて、県のがん対策の取組や受診率向上に向けて、がん検診の受診を呼びかけるビデオメッセージを発信した。
45	R3	その他	第一生命保険(株)	とっとり花応援プロジェクトと連携したとっとり花回廊のPR	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた花農家や生花店を応援する目的で、営業職員が月に2回県内全域を対象に希望のあったお客様にお花をお届けする「とっとり花応援プロジェクト」を行っている。 花に関連した応援の取組として、とっとり花回廊に関する情報についても、当該お届け時にパンフレット等を一緒に手渡す等によりPRすることができるので連携したい。	「とっとり花応援プロジェクト」の取組にあわせて、とっとり花回廊のイベントPRチラシや花の種と一緒に配布することで、花き事業の振興ととっとり花回廊のPRにつながった。